

～かなみっ子のすこやかな成長、質の高い乳幼児教育と保育を目指して～



つながる



函南町幼児教育センターだより 7号

令和6年9月発行

連絡先 学校教育課内
幼児教育センター 979-8121

幼児教育と小学校教育の円滑な接続のために

令和6年6月発行のお便りでは、函南町保幼こ小中接続研究推進の構想案についてお知らせしましたが、この号では、その後の経過について報告します。

1 (仮)接続研究推進会議について

(仮)接続研究推進会議を7月17日と8月19日の2回開催しました。1回目は、今までの取組と課題、その必要性、接続期のカリキュラム作成、事例研究という内容で進めました。

令和元年度より函南町では接続期カリキュラムを作成しており、その期間は、5歳児後半から小学校1年生の7月までの1年間でした。子ども同士や教師間交流にとどまり、幼児教育施設で育まれた資質能力をつなぐカリキュラム編成までに至っていないという現状がありました。接続の必要性については、幼児教育施設と小中学校の間で意識の差がありました。

令和5年2月27日、中央教育審議会では、幼児教育と小学校教育の接続では、架け橋期は5歳児から小学校1年生の終わりの2年間と定義されました。

学びの連続性を意識すれば0歳から18歳までと考えを基に、町では、義務教育修了時まで期待する子ども像を踏まえて架け橋期のカリキュラムを作成していくことにしました。

1回目(7月17日)の会議では、架け橋期のカリキュラム作成の構想と手順を説明しました。期待する子ども像を具体的にしていくために、「運動会」という行事を取り上げ、行事を通して育てたい子どもの姿を「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」の観点で、その項目ごとに園、小学校、中学校の立場で意見を出し合いました。

2回目(8月19日)では、1回目の「運動会」を通して育てたい子どもの姿についての話し合いを基に、二つのグループで、義務教育修了時の期待する子ども像を検討しました。



1回目の会議の様子



2回目の会議
グループワークの様子

Aグループは「自分を表現する、挑戦する、つながる」、Bグループは「志を持ってしなやかに挑戦し続ける」とまとめました。

3回目は12月2日に行います。二つのグループで考えた目指す子どもの姿を全体で検討し、函南町としての義務教育修了時に目指す子どもの姿を作成していく計画です。

※ 8月27日総合教育会議で、接続研究推進会議の(仮称)が取れましたので、3回目からは、接続研究推進会議となります。

2 8月8日開催「幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進のための講演会」について

(1) 研修目的

- (ア) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進について理解を深める。
- (イ) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進のために、園、学校が具体的な取組やその方向性について考える。
- (ウ) 園と小中学校の教員が、架け橋期のカリキュラムを協働して作成していく手だてを考える参考とする。

(2) 講演

演題： みんなで伴奏して、育てよう！函南町の子どもたち

～架け橋期の教育を考える～(年長から1年の2年間を架け橋期とする)

講師： 東海大学児童教育学部児童教育学科 准教授 寶來生志子氏

参集： (仮称)接続研究推委員9名

町教育研究会保幼小中連携推進委員7名

オンライン：園校で視聴

寶來先生のお話より

- ・小学校入学当初に教師が教え込むことによって、子どもの生活や学習に対して支障をきたすおそれがあるという課題がある。
- ・学習する子どもの視点に立つ教育活動への転換が必要であり、全校体制で取り組むことで、学校教育が今後変わっていくようになってほしい。

下のスライド資料⑤に示されているように、今までは左側の三角が二つ重なったような接続でしたが、右側のような一つの三角形が大きくなっていく「小学校入学時はゼロからのスタートではない」こと、園での育ちをベースにしてつなげていくという意識が必要なのが、大事なポイントになります。

(以下寶來先生の講演スライドからの抜粋を掲載しました)

①

架け橋期って知っていますか？

年長から1年の2年間を架け橋期とする

小学校においては、架け橋期のカリキュラムの実効性を高めるためにも、スタートカリキュラムの位置付けを再確認し、架け橋期のカリキュラムを踏まえた教育課程の編成・実施・改善を進める中で、スタートカリキュラムの充実を図ることが必要であると示された。

中央教育審議会初等中等教育分科会幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会
「学びや生活の基盤をつくる幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～(審議のまとめ)」2023年2月27日

3

②

新しいスタートカリキュラムに進化していることを理解していない保育者、教師、保護者が少なくない。そのため、入学当初に教師が教え込み、小学校での学習や生活に支障をきたすおそれがある。

不登校に関する調査研究協力者会議「報告書～今後の不登校児童生徒への学習機会と支援の在り方について～」(2022年6月)でも、「低学年の不登校児童への支援については、幼児教育から小学校教育との円滑な接続が重要である」と述べられている。

4

③

以上のことから、

新しいスタートカリキュラムの考え方を中核にした「架け橋期の研修会」にすることで、架け橋期の教育・保育について効果的に理解でき、子供の安心・安全にもつながるのではないかと考えた。

⇒子供に関わる

全ての関係者が
立場を越えて
連携・協働
するためにも



5

④

学校にとってスタートカリキュラムは

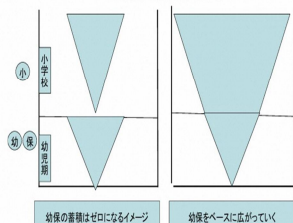
- ・学校経営の柱の一つ
- ・対応でなく、「未然に防ぐ」という考え方
- ・「困った子」でなく「困っている子」という捉え方
- ・学習する子どもの視点に立つ教育活動への転換
⇒ 子どもにきくこと
- ⇒ スタートカリキュラムはアクティブラーニングで
- ・スタートカリキュラム後も続いていくもの
- ・教科の学習自体を見直す
- ・スタートカリキュラムの考え方は、
学校教育の今後変わっていく姿

⑤

幼保の育ちをベースにつなげる

小学校で学ぶことを前倒しするのではなく、幼児期で培った力を土台にして小学校につなげるという意識

相互理解により、幼児期の教育を小学校教育に生かし、学びを広げていく



幼児の蓄積はゼロになるイメージ

「保育の学校」黒田隆幸 より

発想の転換が鍵！

ゼロからのスタートではない

⑥

スタートカリキュラムの役割

- ・幼児期の学び方と児童期の学び方を行きつ戻りつしながら、
子どもが主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくる
- ・“考えない”スイッチが入らないように！→ アクティブラーニング

遊びを通した総合的な学び

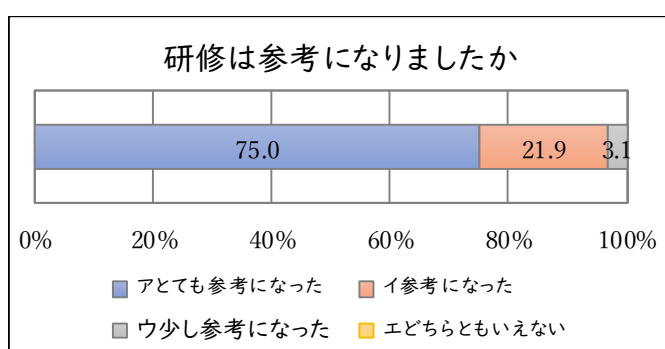
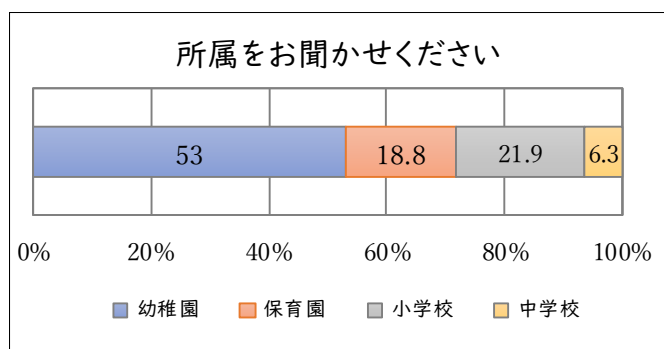
第3ステージのスタートカリキュラムは、
①～③を工夫して、
いきいきと学びに向かう子どもを目指すことが大切。

③「10の姿」を踏まえたスタートカリキュラム

- ・これまでの子どもたちの育ちを尊重する本気の質問
「あなたたちのことを知りたい、教えて、聞かせて、みんなで考えよう」
- ・園での学びを生かした活動

- ★今回改訂①生活科を中心とした**総合的・関連的な指導**
②**弾力的な時間割の設定** ⇒ **カリキュラム・マネジメント**

(4) 講演後のアンケート結果



先生方のアンケートの結果と、意見を別表にしてありますのでお読みください(別表1)。

この研修を通して先生方が、架け橋期の教育が大切であるととても理解できたという意見が多くありました。

「教師主導ではなくて、子どもの思いや考えを取り入れた指導をしていかなければならないし、教育観を変えていくこと」は、中学校の先生からも同意見をいただき、小学校の先生方も、同様な意見でした。園の先生からは「子どもの興味・関心から生まれる活動、子どもが主体的に考え、試行錯誤する姿など、学びの基礎となる保育を小学校の先生方に共通理解してつなげていってもら

うことを意識して、小学校に送らなければならない。」という意見が出ました。また、架け橋期の教育は、全校体制で共通理解する必要があるという意見が多くありました。

3 6・7月保幼小連絡会

今年度は全体会の中に、園と小学校の接続を意識し、彦根市立城東小学校の入学当初の子どもたちへの取り組み内容の動画視聴を入れました。

その後の話し合いは、接続の視点で行いました。

情報交換の場面では、今までは園から小学校に子どもの様子を聞くようにしていましたが、昨年、「小学校の方から園に質問して、今後の指導にいかしていくということが重要」という意見をいただき、そのように変更しました。

課題として出てきたことは、授業から全体会までの時間の設定とか、情報交換をもう少し長くしてほしいというような意見がありました。ここで出てきた意見は、町教研の保幼小中連携推進委員会に伝え、幼児教育センターと連携しながら来年度の保幼小連絡会の運営に生かしていきたいと思います。

多くの参考になる意見をいただき、ありがとうございました。一部ですが記載させていただきます。

全体会で動画視聴の様子



参観授業の様子

- ・幼稚園の遊びが小学校の学びにつながっていると感じました。
- ・保幼小とも園の先生方が、「自分の思いを言葉で伝えられるように」指導されていたので、新1年生の子どもたちが、自分の気持ちをきちんと伝えられるようになっていて感じました。
- ・自分の思いや意見を素直に言える環境が整っており、安心して生活している様子が見られました。
- ・すぐに教えるのではなく、考えさせる場があり、幼稚園でも同じような場面があるので共有できました。
- ・全体会の中で、趣旨説明や接続の在り方等を学校教育課・小・園と共有できたことは成果のひとつであった。
- ・全体会では小学校と幼稚園・保育園・こども園の双方の意見を伝え合うことがきて有意義な時間だったと思います。
- ・動画を視聴し、このような形で保幼小へつながるような体制が出来ると良いなと感じました。
- ・3つの視点についての話し合いは、具体的で分かりやすく、今後の連絡会で共有しながら、指導につなげていけると良いと思います。
- ・気になる子の園時代の様子や、得意なこと、苦手なこと、どんな対応をしていたかななどを詳しく聞くことができてよかった。
- ・担任の先生が思う子どもたちの良いところや悩みをうかがい、改めて、就学に向けて、見通しをもって保育していく大切さを感じました。
- ・園の公開保育に参加いただけて、保育の様子や年長児の様子を見ていただくことができました。このような機会が増えていくとよいと思います。1年生の担任の先生に早い時期に園の様子を見ていただくのも今後の連携につながるのではないかと思います。

※ 原文のまま記載しています。

(別表1) 8月8日研修会アンケート意見集計

所属 質問	研修は参考になりましたか。	上記で回答した理由と、今後自分ができることをお書きください。	その他、お気づきの点、感想などがありましたらお書きください。
小学校	アとても参考になった	主体的な子どもの学びを止めていたのは、教師の出過ぎが原因だと分かりました。年長児との交流会が2月にあるので、1年部と相談してわくわく感を奪わない内容にしたいです。	
小学校	アとても参考になった	今まで教え込んでしまっていたと強く反省しました。学校へ戻ったら、先生方に伝え、意識改革をしてもらいたいと思います。	具体的な子どもたちの姿を見せていただき、お話もよく分かりました。架け橋期のスタートカリキュラムを見直したいと思います。
小学校	アとても参考になった	幼稚園での生活や遊びが、小学校につながっていくために必要なことがあらためてよくわかりました。多くの人に架け橋期を知ってもらい、学校全体で取り組めると思います。	
小学校	アとても参考になった	接続と言う意味、必要性が大変よく理解できた。多くの先生方に今のお話を聞き、見方や考え方の転換を図りたい。 また、自分自身も今後とも子どもたちの力を引き出せるような支援者で有りたい。	忙しい中ですが、春休み中に研修へ参加する事で意識改革が進み、先生方も「やってみたい」が生まれるのではないかと。
小学校	アとても参考になった	子どもの意欲、学びをとめないことの大切さ。子どものやりたいを尊重していきたい。園との連携を図っていきたい。	1年生の担任の研修としてもいいのでは。
小学校	アとても参考になった	今まで自分が教えていたことも、子どもたちに問いかけ気づかせることで子どもたち自身が獲得していけるようにしたいと思います。	今日の研修会で見せていただいた動画を見ながら、こういう風に学んできた子がそのまま育てばアクティブラーニングが根付いていくのだと思いました。やはりこれは1年生に関わる担当者だけでなく、学校全体で意識改革をしていくことが必要だと感じました。教員側が変わっていかないといけないなあと思います。
小学校	アとても参考になった	動画の中で、子どもたちが生き生きと活動する様子が、とても輝いていて、素敵でした。 今の学校の中で、このように子どもの思いを大切にする学びを実践していくのは、難しく、時間のかかることでもあります。学びに向かう力を養っていけるよう、私たち教員の意識改革を進めていきたいと思いました。 ありがとうございました。	機会を見つけて、学校に帰って、今日のお話を広めていけたらと思います。
中学校	アとても参考になった	中学でも、教え込みではなく、子どものはてなから、活動につながるようにしたい。教職員間での共通認識もしていきたいし、いきなり怒らず言い方を変えることを実践していきたい。	すごく勉強になった。中学でも実践できることがあるのでやってみたい。
中学校	アとても参考になった	これまでの知識や実践の答え合わせになったため。	お忙しい中、講師の先生ありがとうございました。

幼稚園	アとても参考になった	子どものやりたい気持ちや興味関心をしっかり捉えて、子どもたちと一緒に考えたり活動したりできるようにしたい。やりたいことがある場所にすることが印象的だった。子どものやりたいを奪わないようにしていきたい。 また、小学校との接続の大切さを改めて感じた。	
幼稚園	アとても参考になった	動画で出てきた子どもたちの生活を見て、幼稚園での生活と重なる場面がたくさんあるなど感じました。私もすぐに声をかけてしまうので、学び方を学んでいる時だと意識し、気づけるように待ってみようと思います。	忙しい中、研修会を開催していただき、ありがとうございました。
幼稚園	アとても参考になった	小学校の取り組み方が大きく変わってきていると感じた。その取り組みにしっかりとつなげていくことが大切だと思う。 幼児期に育てていかなければいけないことを、どの学年の職員もしっかりと意識して保育をしていかなければいけないと改めて思った。	
幼稚園	アとても参考になった	小学校での意欲的な姿の為にも子どものやってみたいという主体的な気持ちを幼児期に育てていくことの大切さを改めて感じた。子どもの声を拾いながら柔軟に保育をしていきたい。	
幼稚園	アとても参考になった	実際の子どもたちのわくわくした様子から、『子どもが育つ』学びの場の大切さを実感しました。育てたいという大人の思いが強くなってしまうので、待つことや学びの意欲を止めない援助や声掛けをしていきたいと思いました。	
幼稚園	アとても参考になった	架け橋期、スタートカリキュラムなどについてよく知ることができた。また動画のお話は子どもの学びや育ちを分かりやすくとらえることができた。園でも先生や友達と様々な経験を通して、わくわくやってみて、楽しい、出来たよ、なんてかな、どうすればいいかななど学びの基礎となる気持ちを大切にしたい保育をしていきたい。	
幼稚園	アとても参考になった	子どもの主体性を大事にし、学びに向かう姿、力を育むことを引き続きやっていきたいと思っています。保育者も学びの場の環境の一部だということを改めて感じました。周りの保育者にも、今の時代に合わせた架け橋期の教育というものを共通理解してもらえるようにしたいと思いました。	保育者として、自分が学び、やってきたことは間違えていなかったんだ、ということがわかりました。本当にうれしかったです！少しずつ、皆で同じ思いで架け橋期の保育を考え、実践していけたらいいな、と思います。
幼稚園	アとても参考になった	お話がとてもわかりやすく、10の姿を思い浮かべながらお話を聞くことができた。	生き生きと、主体的に学校生活を楽しむ一年生の姿が印象的でした。小学校では、授業もあり、なかなか難しいかもしれませんが、保幼小この連携を図りながら函南町の子どもたちと一緒に育てていけるといいなと思いました。
保育園	アとても参考になった	子どもたちが主体となって行動に移せるように、担任だけでなく、全体で取り組むことが、必要だと思いました。好奇心を育める工夫を保育の中に取り組んでいきたいと思いました。	参考になる、研修をありがとうございました。
保育園	アとても参考になった	架け橋プログラムの考え方が改めて理解できた	教育にはいろいろな価値観があり、将来目指すべき人間像を考えていく必要があると感じた。

幼稚園	イ 参考になった	小学校での取り組みについて知らない部分が多かったので、子どもが楽しめるような工夫がされていることを知ることができた。	
幼稚園	イ 参考になった	漠然としていた架け橋プログラムの内容を、園生活での活動と照らし合わせて理解することができた。今後は、園生活の約束や決まりなど、保育者が提示するのではなく子どもたちで考えられるような環境を考えて行きたいと思った。	
幼稚園	イ 参考になった	学校も子どもが自ら考える教育に変わっていて、園ではその基礎になるところを育てていくべきだということを改めて感じました。今後も1つ1つのことに子どもたちが自ら関わって考えて行動する保育を心がけていきたいと思います。	
幼稚園	イ 参考になった	小学校の取り組みを見て勉強になりました。充実感や達成感などが味わえるように学びに向かう力をつけられるようにしていきたいです。	
保育園	イ 参考になった	架け橋期の教育について、わかるようでわかっていない事も多かったので、子どもたちが困る事が少しでも減るような対応を知ることができてよかった。学校での実際の取り組みも知りたいな、と思った。	
保育園	イ 参考になった	価値ある体験を通して気づき・手応え感覚が豊富にできるよう更に意識していきたい。	動画で見させていただいた子どもたちの姿が、園での活動そのものだと感じました。園では子どもの気付きを先取りせず、興味関心を更に自分たちで追求できるよう、保育者は演技者になり子どもを支えるよう心がけています。今後も子どもの興味関心に寄り添いながら、子どもの学力を支えていきたいと思います。
保育園	イ 参考になった	動画を見て、10の姿が小学校生活に結びついているということを初めて見た気がします。 幼児期から考えるスイッチは、準備・作っていただけるので、すぐにでも『自分で考える』主体的な保育をしっかりとしていきたいと思います。	自分自身が小学校に送り出す方として、学校に行って子どもが困らないようにと考えてしまうことが多く、これはできてた方がと思って保育に取り入れてしまうことが多いです。 改めて、架け橋期の大切さを考える機会をいただきました。ありがとうございました。
保育園	ウ 少し参考になった	主に小学校の情報をたくさん知ることができた。 年長担任として今日知ったことを頭に入れつつ保育をしていきたい。	